

科目名	高齢者福祉論						
	【社会福祉士必修】						
授業形態	講義	学年	2年	開講時期	前期	単位数	2単位
担当教員	久保 美由紀						

内容および計画	高齢期にある人びとの援助実践に必要な基礎を学ぶことをねらいとした科目です。わが国における人口の高齢化の背景やその特徴を多面的に学び、人びとが生活する「現代社会」について理解することからはじめます。そのうえで、現代社会において営まれる高齢期の生活状況の実際や生活のなかから生まれてくる福祉ニーズとはどのようなものなのかについて理解していくよう進めていきます。
1	少子高齢社会と社会的問題
2	地域課題としての高齢化
3	家族問題としての高齢化
4	高齢期の理解
5	高齢期の理解
6	高齢期の理解
7	高齢期における生活課題とそのニーズ
8	高齢期における生活課題とそのニーズ
9	高齢期のケアと介護保険サービス
10	高齢期のケアと介護保険サービス
11	高齢期のケアと介護保険サービス
12	高齢者保健福祉サービスとその実態
13	高齢者保健福祉サービスとその実態
14	高齢者保健福祉サービスとその実態
15	まとめ

教科書	適宜資料を配布します。
-----	-------------

参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉六法（出版社は問わないができるだけ最新のもの） ・ 『国民の福祉と介護の動向』（旧『国民の福祉の動向』（各年）厚生統計協会 ・ 『厚生労働白書』（各年）ぎょうせい ・ 『高齢社会白書』（各年）内閣府 その他、講義中にも紹介する。
-----	---

成績評価	評価方法	割合
	定期試験	70 %
	小レポート等	30 %
初回時に改めて説明します。		

学習到達目標	高齢期にある人びとの生活実態について理解すること。 わが国の高齢者保健福祉施策の概要について理解すること。
--------	--

先修条件	
------	--

その他	日頃から、新聞やテレビのニュース、雑誌などに目をとおり現代社会やそこで起きている問題などに関心に向け、その背景を理解するよう務めてください。
-----	--